大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査報告書 (平成22年10月分)

大 阪 市 港 湾 局 大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

Ι	事後調査の概要	
	1. 調査概要 ······	I - 1
	2. 工事の実施状況	I - 3
	3. 調査結果の概要	I - 4
П	事後調査結果	
	1. 大気質	I I − 1
	2. 水質 ······	I I− 9
	3. 騒音・低周波空気振動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	I I − 13



1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 22年 10月(大気質、水質、騒音・低周波空気振動)の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要(平成22年10月)

環境項目			調査項目	調査地点等	調査期間等	
大気質	大気質 一般環境		二酸化硫黄(SO ₂)	1点	平成 22 年 10 月 1 日	
			窒素酸化物(NO2,NO)	南港中央公園局	~31 日	
			浮遊粒子状物質(SPM)			
			風向・風速		(通年連続)	
水質	一般	項目	水素イオン濃度(pH)	5点(1~5)×2層	平成 22 年 10 月 13	
			化学的酸素要求量(COD)	上層:海面下1m	日	
			溶存酸素量(DO)	下層:海底面上 2m		
			全窒素(T-N)、全燐(T-P)			
			透明度、水温、塩分、濁度、			
			浮遊物質量(SS)、クロロフィルa		(1回/月)	
	1.111		濁度、水温	放流水 1点	平成 22 年 10 月 1 日	
	埋立中の濁り等監視が流水		水素イオン濃度(pH)		~29 日 ^{注1}	
		中の		化学的酸素要求量(COD)		
		溶存酸素量(DO)		(連続測定)		
	辛監捐	放流水及び内水	浮遊物質量(SS)	放流水 1点	平成 22 年 10 月 5、	
	-	及	不揮発性浮遊物質量(FSS)	内 水 1点	13、19、26 日	
	棄物	り 内		(処理原水)		
	(廃棄物処分場周辺)	水			(1回/週)	
	場場		水素イオン濃度(pH)		平成 22 年 10 月 13	
	辺		化学的酸素要求量(COD)		日	
			全窒素(T·N)		(1回/月)	
騒音・			騒音レベル	1点	平成 22 年 10 月 13	
低周波空気振動		動	$(L_5, L_{50}, L_{95}, L_{eq})$	大阪南港野鳥園	日~14 日	
			低周波空気振動音圧レベル			
			(L ₅ , L ₅₀ , L ₉₅ , L _{max})		(2回/年)	

注1:10月30、31日は、台風接近による設備停止で放流を止めていたため欠測。

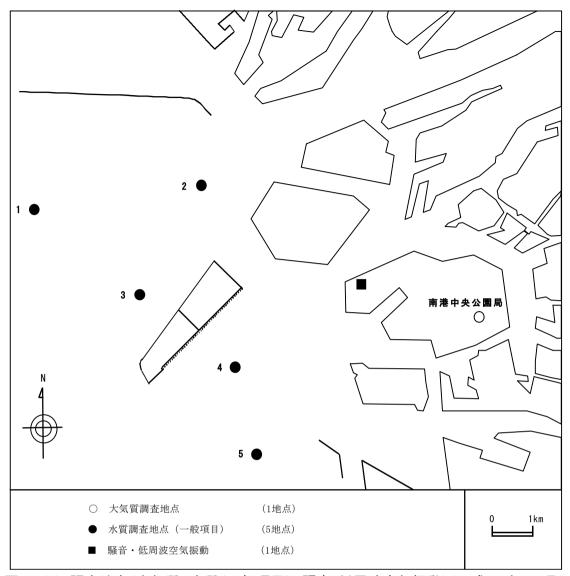


図-1(1) 調査地点(大気質、水質(一般項目)、騒音・低周波空気振動)(平成22年10月)

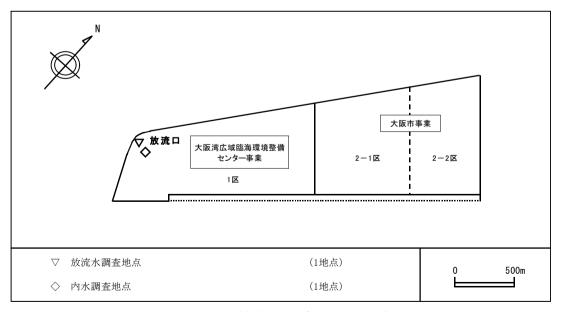
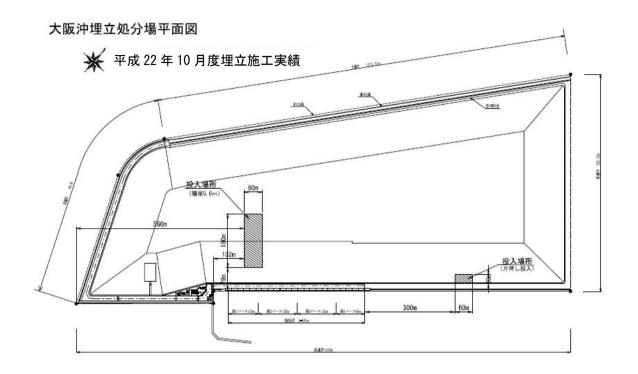


図-1(2) 調査地点(水質(放流水及び内水))(平成22年10月)

2. 工事の実施状況

平成 22 年 10 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量(m³)	進捗率(%)
661,990	4.7

埋立容量(計画量): 13,975,000 m3

図-2 工事の実施状況 (平成22年10月)

3. 調査結果の概要

(1) 大気質

1) 二酸化硫黄 (SO₂)

二酸化硫黄 (SO_2) の月平均値は、0.004ppm であった。また、日平均値の最高値は0.009ppm、1時間値の最高値は0.018ppm であり、環境基準値(日平均値:0.04ppm、1時間値:0.1ppm)を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂)

二酸化窒素(NO_2)の月平均値は、0.025ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.039ppm であり、環境基準値(日平均値: $0.04\sim0.06ppm$ のゾーン内またはそれ以下)を下回っていた。

3) 浮游粒子状物質(SPM)

浮遊粒子状物質(SPM)の月平均値は、0.023mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.042mg/m³、1 時間値の最高値は 0.082mg/m³であり、環境基準値(日平均値: 0.10mg/m³、1 時間値: 0.20 mg/m³)を下回っていた。

(2) 水質 (一般項目)

1) 水素イオン濃度 (pH)

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.1~8.3、下層で 8.0~8.1 の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値 (7.8 以上 8.3 以下) の範囲内であった。

2) 化学的酸素要求量(COD)

化学的酸素要求量 (COD) は上層で $2.7\sim3.9$ mg /L、下層で $1.0\sim1.5$ mg /L の範囲にあり、上層では調査地点 1、2 及び 4 で環境基準値(3mg /L)を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1(3.8 mg/L)、調査地点 2(3.9 mg/L)、調査地点 4(3.8 mg/L)であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、上層で $1.6 \sim 4.9 mg/L$ であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量(DO)

溶存酸素量 (DO) は上層で $7.9\sim10~mg/L$ 、下層で $2.9\sim4.1mg/L$ の範囲にあり、上層では全ての調査地点で環境基準値 (5mg/L) を満たしていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査地点は、下層における調査地点 1(3.4 mg/L)、調査地点 2(2.9 mg/L)、調査地点 3(4.1 mg/L)、調査地点 4(3.6 mg/L)、調査地点 5(3.8 mg/l)であったが、

事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、下層で $0.6 \sim 11 \text{mg/L}$ であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N)

全窒素 (T-N) は上層で $0.54\sim0.78$ mg/L、下層で $0.32\sim0.52$ mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 1、2、3 及び 4 において環境基準値(0.6mg/L)を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.70 mg/L) 、調査地点 2 (0.78 mg/L) 、調査地点 3 (0.63 mg/L) 、調査地点 4 (0.70 mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、上層で $0.46 \sim 2.1 \text{mg/L}$ であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P)

全燐 (T-P) は上層で $0.062\sim0.083$ mg/L、下層で $0.046\sim0.060$ mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値 (0.05mg/L) を上回っており、下層では調査地点 2 及び 5 で環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1~(0.080 mg/L) 、調査地点 2~(0.069 mg/L) 、調査地点 3~(0.070 mg/L) 、調査地点 4~(0.083 mg/L) 、調査地点 5~(0.062 mg/L) であり、下層では調査地点 2~(0.060 mg/L) 、調査地点 5~(0.056 mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12~年度)は、上層で $0.021 \sim 0.15 mg/L$ 、下層で $0.02 \sim 0.25 mg/L$ であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で4~8度(カオリン)、下層で2~3度(カオリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量(SS)は上層で $3\sim6$ mg/L、下層で $1\sim3$ mg/L の範囲であった。

8) 10071Na

(3) 水質(放流水及び内水)

1) 放流水 (連続測定)

濁度は、0.0~0.4 度(カオリン) (平均値 0.1 度(カオリン)) の範囲であった。

水温は、17.7~23.0°C(平均値 21.3°C)の範囲であった。

pH は、7.6~8.2 の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値(5.0 以上 9.0 以下)の範囲内であった。

COD は、 $6.7\sim8.1$ mg/L(平均値 7.2mg/L)の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値(90mg/L)及び管理目標値(40mg/L)を下回っていた。

DO は、No.1 接触酸化槽において $8.9\sim10.0$ mg/L (平均値 9.3mg/L) であり、No.2 接触酸化槽において $7.2\sim8.4$ mg/L (平均値 7.8mg/L) であった。

注:1. 水温は、分配槽の温度を測定。

2. DO については、測定計設置調整中のため、参考値として接触酸化槽での測定値を掲載。

2) 放流水、内水

①放流水

SS は、報告下限値未満(<1mg/L) $\sim1.3mg/L$ (平均値 1.1mg/L)の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値(60mg/L)及び管理目標値(50mg/L)を下回っていた。

FSS は、全測定を通じて報告下限値未満(<1mg/L)であった。

pHは、8.1であり、放流水の基準値及び管理目標値の範囲内であった。

CODは、7.0mg/Lであり、放流水の基準値及び管理目標値を下回っていた。

T-N は、1.6mg/L であり、放流水の基準値(120mg/L、日間平均 60mg/L)及び管理目標値(30mg/L)を下回っていた。

②内水

SS は、1.5~3.2mg/L (平均値 2.0mg/L) の範囲であった。

FSS は、報告下限値未満(<1mg/L) ~1.9 mg/L(平均値 1.2mg/L)の範囲であった。 pH は 8.5、COD は 9.1mg/L、T-N は 1.8mg/L であった。

(4) 騒音・低周波空気振動

1) 騒音

騒音レベル (L_{eq}) は、昼間 (午前 6 時~午後 10 時) は平均値 47 デシベル、夜間 (午後 10 時~午前 6 時) は平均値 50 デシベルであり、いずれも環境基準値 (昼間 60 デシベル、夜間 50 デシベル) 以下であった。

2) 低周波空気振動

低周波空気振動の音圧レベル (L₅₀) は、作業時間帯 (午前9時~午後6時) において平 均値72 デシベルであり、環境影響評価時の予測値(73 デシベル)以下であった。

《参考》

■環境基準値等(本報告関係分)

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基 準 値
二酸化硫黄	1 時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、
(SO ₂)	1 時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの
(NO ₂)	ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、
(SPM)	1時間値が0.20mg/m³以下であること。

(2) 水質 (海域)

類型	項目	基準値
	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
В	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
ш	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
Ш	全燐 (T-P)	0.05mg/L 以下

注:水素イオン濃度、化学的酸素要求量及び溶存酸素量の基準値は日間平均値、全窒素 及び全燐の基準値は年間平均値である。

(3) 騒音(道路に面する地域以外の地域)

地域の	基注	進 値
類型	昼間	夜 間
С	60デシベル以下	50デシベル以下

注:1.時間の区分は以下のとおりである。

昼間:午前6時~午後10時 夜間:午後10時~午前6時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

2. 規制基準等

(1) 水質(放流水·一般項目)

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理	水素イオン濃度 (pH)	5.0 以上 9.0 以下	同左
型 最	化学的酸素要求量 (COD)	90mg/L 以下	40mg/L
終 処	浮遊物質量 (SS)	60mg/L 以下	50mg/L
分 場	窒素含有量 (T-N)	120mg/L (日間平均60mg/L) 以下	30mg/L

注:放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を 定める省令別表第一より抜粋。

Ⅱ 事後調査結果

大気質測定結果総括表[平成22年10月分]

項	測 定 局	南港中央公園
_	有効測定日数(日)	31
酸	日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)	0
化硫	測定時間数(時間)	743
黄	1 時間値が0.1ppmを超えた時間数(時間)	0
	有効測定日数 (日)	31
_	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(日)	0
酸似	日平均値が0.06ppmを超えた日数(日)	0
化窒素	測定時間数 (時間)	742
素	1 時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数(時間)	0
	1 時間値が0.2ppmを超えた時間数(時間)	0
浮遊	有効測定日数(日)	31
粒子	日平均値が0.10mg/m³を超えた日数(日)	0
状	測定時間数 (時間)	743
物質	1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数(時間)	0
	備考	

二酸化硫黄測定結果[平成22年10月分]

		南港中	央公園		
D/J /L /PJ					
	項目	日平均値	1 時間値の 最高値		
	л н	(ppm)	政同但 (ppm)		
	1 (金)	0.004	0.006		
	2 (土)	0.004	0.012		
	3 (目)	0.002	0.005		
	4 (月) 5 (火)	0. 005 0. 005	0. 013 0. 009		
日	3 (90)	0.003	0.009		
	6 (水)	0.004	0.008		
	7 (木)	0.006	0.018		
	8 (金) 9 (土)	0. 003 0. 004	0. 006 0. 006		
	10 (目)	0.003	0.006		
	11 (日)	0.000	0.007		
	11 (月) 12 (火)	0. 003 0. 005	0. 007 0. 009		
	13 (水)	0.005	0.006		
	14 (木)	0.006	0.010		
別	15 (金)	0.005	0.006		
73.3	16 (土)	0.006	0.009		
	17 (日)	0.005	0.008		
	18 (月)	0.009	0.018		
	19 (火) 20 (水)	0. 007 0. 006	0. 012 0. 012		
		0.000	0.012		
	21 (木)	0.004	0.009		
	22 (金) 23 (土)	0. 004 0. 005	0. 005 0. 008		
	24 (日)	0.003	0.008		
	25 (月)	0.004	0.008		
値	26 (火)	0.003	0 000		
	26 (火) 27 (水)	0.003	0. 008 0. 003		
	28 (木)	0.002	0.005		
	29 (金)	0.002	0.004		
	30 (土)	0.002	0.005		
有多	<u>31 (日)</u> 効 測 定 日 数 (日)	0.002	0.005		
測	定 時 間 (時間)				
例		743			
		0.004			
	均値の最高値(ppm) 間値の最高値(ppm)	0.009			
		0.018			
1 時 数	間値が0.1ppmを超えた時間 (時間)	()		
	- 均値が0.04ppmを超えた日	()		
奴	数 (日)				

大気質様式第3号(埋立地関連)

一酸化窒素測定結果[平成22年10月分]

測 定 局		南港中	南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm) 1時間値の 最高値 (ppm)		
日	1 (金) 2 (土) 3 (日) 4 (月) 5 (火)	0. 010 0. 002 0. 001 0. 011 0. 007	0. 047 0. 010 0. 002 0. 042 0. 052	
	6 (水) 7 (木) 8 (金) 9 (土) 10 (日)	0. 010 0. 008 0. 005 0. 018 0. 006	0. 049 0. 028 0. 022 0. 056 0. 023	
Ed.	11 (月) 12 (火) 13 (水) 14 (木) 15 (金)	0. 001 0. 010 0. 006 0. 007 0. 003	0. 003 0. 046 0. 051 0. 022 0. 016	
別	16 (土) 17 (日) 18 (月) 19 (火) 20 (水)	0. 001 0. 001 0. 008 0. 005 0. 009	0. 003 0. 004 0. 052 0. 022 0. 032	
	21 (木) 22 (金) 23 (土) 24 (日) 25 (月)	0. 004 0. 004 0. 004 0. 001 0. 027	0. 010 0. 011 0. 024 0. 001 0. 100	
値	26 (火) 27 (水) 28 (木) 29 (金) 30 (土) 31 (日)	0. 005 0. 004 0. 016 0. 005 0. 003 0. 003	0. 013 0. 011 0. 041 0. 012 0. 013 0. 017	
有多	劝測定日数 (日)	3		
測	定 時 間 (時間)	742		
月 平 均 値 (ppm) 0.007			007	
日平	均値の最高値 (ppm)	0.0)27	
1時	1 時間値の最高値 (ppm) 0.100			

二酸化窒素測定結果[平成22年10月分]

	測 定 局	南港中	央公園
	項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (金) 2 (土) 3 (日) 4 (月) 5 (火)	0. 029 0. 020 0. 016 0. 036 0. 025	0. 037 0. 030 0. 029 0. 067 0. 051
	6 (水) 7 (木) 8 (金) 9 (土) 10 (日)	0. 027 0. 032 0. 028 0. 033 0. 018	0. 043 0. 056 0. 053 0. 046 0. 033
別	11 (月) 12 (火) 13 (水) 14 (木) 15 (金)	0. 015 0. 029 0. 026 0. 039 0. 027	0. 031 0. 050 0. 046 0. 063 0. 040
203	16 (土) 17 (日) 18 (月) 19 (火) 20 (水)	0. 020 0. 015 0. 036 0. 033 0. 031	0. 039 0. 024 0. 045 0. 046 0. 053
	21 (木) 22 (金) 23 (土) 24 (日) 25 (月)	0. 024 0. 022 0. 022 0. 014 0. 033	0. 038 0. 032 0. 037 0. 021 0. 041
値	26 (火) 27 (水) 28 (木) 29 (金) 30 (土) 31 (日)	0. 016 0. 015 0. 026 0. 022 0. 014 0. 022	0. 037 0. 024 0. 035 0. 038 0. 026 0. 028
-	効測定日数 (日)	3	1
測	定 時 間 (時間)	74	
月	平 均 値 (ppm) - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	0. 0	
	均値の最高値(ppm) ・間値の最高値(ppm)		
1 時間値が0. 2ppmを超えた時間数 (時間)		0.067	
時間		()
(日		()
日平 の日	5均値が0.04ppm以上0.06ppm以下 数 (日)	()

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果[平成22年10月分]

	測 定 局		南港中央公	園
	項目	日平 (ppm)	均値 NO ₂ / (NO+NO ₂)(%)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (金) 2 (土) 3 (日) 4 (月) 5 (火)	0. 039 0. 022 0. 017 0. 047 0. 033	73. 5 90. 5 93. 7 76. 0 78. 2	0. 083 0. 040 0. 030 0. 104 0. 101
	6 (水) 7 (木) 8 (金) 9 (土) 10 (日)	0. 037 0. 041 0. 033 0. 051 0. 024	73. 1 79. 4 85. 3 64. 5 76. 7	0. 083 0. 083 0. 075 0. 099 0. 056
別	11 (月) 12 (火) 13 (水) 14 (木) 15 (金)	0. 016 0. 039 0. 032 0. 045 0. 031	92. 4 73. 6 81. 3 85. 5 89. 3	0. 032 0. 096 0. 097 0. 083 0. 054
<i>5</i> 1	16 (土) 17 (日) 18 (月) 19 (火) 20 (水)	0. 021 0. 016 0. 044 0. 038 0. 040	94. 4 92. 1 82. 1 88. 0 77. 6	0. 041 0. 028 0. 092 0. 068 0. 076
	21 (木) 22 (金) 23 (土) 24 (日) 25 (月)	0. 027 0. 026 0. 026 0. 015 0. 060	86. 9 83. 5 83. 6 93. 4 54. 4	0. 048 0. 043 0. 061 0. 022 0. 141
値	26 (火) 27 (水) 28 (木) 29 (金) 30 (土) 31 (目)	0. 021 0. 019 0. 041 0. 027 0. 017 0. 025	75. 5 78. 5 62. 6 80. 1 83. 3 87. 4	0. 047 0. 035 0. 074 0. 048 0. 039 0. 043
有3	効 測 定 日 数 (日)		31	
測	定 時 間 (時間)		742	
月	平均値(ppm)		0.031	
-	均値の最高値(ppm) 間値の最高値(ppm)	0. 060 0. 141		
	内値		78. 7	

- 注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 - $2. NO_2/(NO+NO_2)$ の算定方法は、下記のとおりである。
 - 日(月)平均值NO₂/(NO+NO₂)
 - =(NO及びNO2が同時測定されている時間の

NO2濃度の日(月)間にわたる総和)/

(NO及びNO2が同時測定されている時間の

N0+N0₂濃度の日(月)間にわたる総和)

浮遊粒子状物質測定結果[平成22年10月分]

	測 定 局	南港中	央公園
	項目	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)
日	1 (金) 2 (土) 3 (日) 4 (月) 5 (火)	0. 021 0. 023 0. 018 0. 023 0. 010	0. 045 0. 045 0. 049 0. 064 0. 029
	6 (水) 7 (木) 8 (金) 9 (土) 10 (日)	0. 018 0. 015 0. 028 0. 025 0. 019	0. 045 0. 039 0. 050 0. 048 0. 045
n.i	11 (月) 12 (火) 13 (水) 14 (木) 15 (金)	0. 014 0. 026 0. 030 0. 041 0. 038	0. 035 0. 051 0. 048 0. 061 0. 065
別	16 (土) 17 (日) 18 (月) 19 (火) 20 (水)	0. 024 0. 021 0. 042 0. 041 0. 034	0. 047 0. 036 0. 082 0. 059 0. 056
	21 (木) 22 (金) 23 (土) 24 (日) 25 (月)	0. 033 0. 022 0. 026 0. 020 0. 024	0. 060 0. 054 0. 053 0. 041 0. 064
値	26 (火) 27 (水) 28 (木) 29 (金) 30 (土) 31 (日)	0. 012 0. 012 0. 012 0. 012 0. 017 0. 016	0. 043 0. 029 0. 041 0. 029 0. 033 0. 041
	劝測定日数 (日)	3	
測	定時間(時間)	74	
月日亚	平 均 値 (mg/m³) 均値の最高値 (mg/m³)	0. (
	19個の最高値 (mg/m) 間値の最高値 (mg/m ³)	0. (
	間値が0.20mg/m ³ を超えた時	(
日平数	均値が0.10mg/m³を超えた日 (日)	()

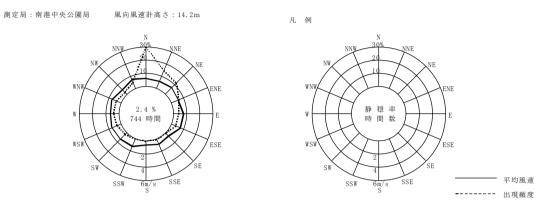
気象観測結果(風向・風速)[平成22年10月分]

	測	定局			南港中央公園	
				風	速	最多
			平均		最大風速	風 向
	項	目	風速	風速	風向	
			(m/s)	(m/s)	16方位	16方位
日	1 (金) 2 (土) 3 (日) 4 (月) 5 (火)		1. 1 1. 4 1. 3 0. 9 1. 5	2. 2 2. 2 2. 5 1. 8 3. 3	N E, ESE, W NE SSW, W WSW	N NE N SSE, W WNW, N
	6 (水) 7 (木) 8 (金) 9 (土) 10 (日)		1. 3 1. 0 2. 1 1. 0 1. 0	3. 5 2. 3 3. 6 2. 5 2. 2	NNW W ESE NE WSW	N N NE NE N
別	11 (月) 12 (火) 13 (水) 14 (木) 15 (金)		1. 0 1. 1 1. 0 0. 9 1. 3	2. 0 1. 9 1. 7 1. 5 2. 8	WSW SW ENE NNW W	N SW, NNW, N N N
万门	16 (土) 17 (日) 18 (月) 19 (火) 20 (水)		1. 0 0. 8 1. 2 1. 3 1. 3	1. 7 1. 8 2. 2 2. 2 2. 2	WSW ESE NE ESE ENE	WNW, N N N N NE
	21 (木) 22 (金) 23 (土) 24 (日) 25 (月)		1. 6 1. 3 1. 3 1. 4 0. 8	2. 4 2. 1 2. 3 2. 8 1. 4	N N NE NE W	N NNE N NE ENE, WNW, N
値	26 (火) 27 (水) 28 (木) 29 (金) 30 (土) 31 (目)		2. 4 1. 9 1. 4 1. 6 1. 9 0. 9	3. 6 3. 0 2. 4 2. 6 3. 8 1. 6	NNW N NNE NNE NE NNE	N N NNE NNE N
測	定時間	(時間)			744	
月	平 均 風	速 (m/s)			1.3	
月	最 大 風	速 (m/s)			3.8	
月	最 多 風	向(16方位)			N	

大気質様式第8号(埋立地関連)

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成22年10月分]

方位項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時 間数
度 数	108	91	51	33	29	9	9	5	5	18	27	30	30	17	39	225	18	744
頻 度 (%)	14. 5	12. 2	6.9	4. 4	3. 9	1.2	1. 2	0.7	0.7	2. 4	3.6	4.0	4.0	2.3	5. 2	30. 2	2. 4	-
平均風速(m/s)	1. 2	1. 5	1.2	1. 6	1. 6	0.8	1. 0	0. 7	1.3	1. 5	1.5	1.3	1. 5	1.0	1. 5	1. 2	0. 2	_



風 配 図 [平成22年10月分]

水質調査結果(一般項目) [平成22年10月分]

調査日:平成22年10月13日

							 问 直 口 :	1 /	/ - /	v 1:
項目	調査点	1	2	3	4	5	最小値	~	最大値	平均値
時刻		9:45	9:25	10:00	10:35	10:20		_		_
透明度	[m]	2. 5	2.3	3. 2	1.8	2.2	1.8	\sim	3. 2	2.4
水温		24. 5	24.5	24. 3	25. 1	24.6	24. 3	\sim	25. 1	24.6
	$[^{\circ}C]$	24.6	24.9	24.8	24.9	24.7	24. 6	\sim	24.9	24.8
塩分		21.3	25.3	26. 7	28.3	31.1	21. 3	~	31. 1	26. 5
	[-]	32. 9	32.9	32. 9	32. 7	32.8	32. 7	\sim	32.9	32.8
濁度		7	7	4	8	6	4	\sim	8	6
	度(カオリン)]	3	2	2	2	2	2	\sim	3	2
浮遊物質量	(SS)	6	5	3	6	4	3	\sim	6	5
	[mg/L]	2	1	1	3	2	1	\sim	3	2
水素イオン濃	費度	8. 2	8.2	8. 1	8.3	8.2	8. 1	\sim	8.3	-
(pH)	[-]	8. 1	8.0	8.0	8. 1	8.1	8. 0	\sim	8. 1	_
化学的酸素要	京求量	3.8	3.9	2. 7	3.8	2.9	2. 7	\sim	3. 9	3.4
(COD)	[mg/L]	1. 5	1.2	1.0	1.4	1.3	1.0	\sim	1.5	1.3
	濃度	9. 6	10	7. 9	10	10	7. 9	\sim	10	10
溶存酸素量	[mg/L]	3. 4	2.9	4. 1	3.6	3.8	2. 9	\sim	4. 1	3.6
(DO)	飽和度	130	139	110	143	144	110	\sim	144	133
	[%]	49	42	60	52	55	42	\sim	60	52
全窒素		0.70	0.78	0.63	0.70	0.54	0. 54	\sim	0.78	0.67
(T-N)	[mg/L]	0. 52	0.43	0. 32	0.37	0.42	0.32	\sim	0.52	0.41
全燐		0.080	0.069	0.070	0. 083	0.062	0.062	\sim	0.083	0.073
(T - P)	[mg/L]	0.050	0.060	0.046	0.048	0.056	0.046	\sim	0.060	0.052
クロロフィル	√ a	64	69	36	79	48	36	\sim	79	59
(chl.a)	$[\mu \text{ g/L}]$	<1	1	<1	2	1	<1	\sim	2	1

注)上段:上層(海面下1m) 下段:下層(海底面上2m)

特記事項			

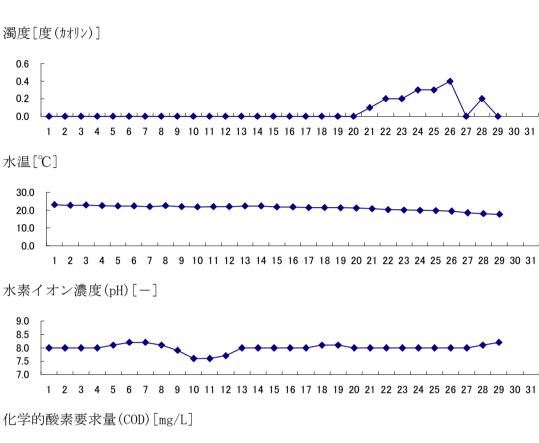
水質様式第6号

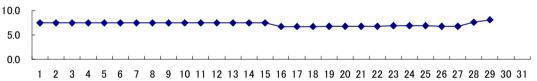
水質調査結果(埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水(連続測定:総括)) [平成 22 年 10 月分]

	区分			放流水	
項目		最小値	~	最大値	平均值
濁度	[度(カオリン)]	0.0	~	0.4	0. 1
水温	[℃]	17.7	\sim	23.0	21.3
рН	[-]	7. 6	\sim	8. 2	_
COD	[mg/L]	6. 7	~	8. 1	7. 2
DO (No. 1)	[mg/L]	8. 9	~	10.0	9. 3
DO (No. 2)	[mg/L]	7. 2	\sim	8.4	7.8
特記事項		,	, ·	槽の温度を	
					置調整中の
		ため、参		として接触	酸化槽での
		測定値を	と掲載。		
		※10月30、	31日1	は、台風接	近による設
		備停止で	で放流	を止めてい	たため欠測。

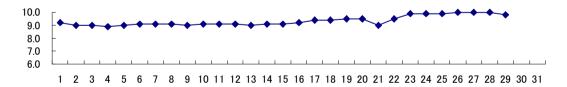
水質様式第7号

水質調査結果(埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水(連続測定)) [平成 22 年 10 月分]

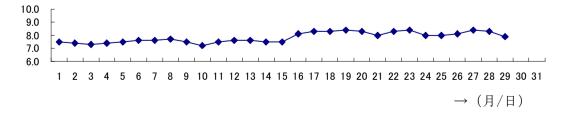




溶存酸素量(D0)[mg/L] No.1 接触酸化槽



溶存酸素量(D0)[mg/L] No. 2 接触酸化槽



※10月30、31日は、台風接近による設備停止で放流を止めていたため欠測。

水質様式第8号

水質調査結果(埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水①) [平成22年10月分]

区分		放流水			内水	
項目		SS	FSS		SS	FSS
	時刻			時刻		
調査日		[mg/L]	[mg/L]		[mg/L]	[mg/L]
5 (火)	8:30	1.1	< 1	8:40	1.5	< 1
13 (水)	8:15	< 1	< 1	8:30	1.5	< 1
19 (火)	8:50	< 1	< 1	8:40	1.9	< 1
26 (火)	8:50	1.3	< 1	9:00	3.2	1.9
平均値	_	1.1	< 1		2.0	1.2
最小値	_	< 1	< 1	_	1.5	< 1
最大値	_	1.3	< 1	_	3.2	1.9

特記事項		

水質様式第9号

水質調査結果(埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水②) [平成22年10月分]

調査日:平成22年10月13日

区分項目	放流水	内水
時刻	8:15	8:30
pH[-]	8.1(24°C)	8. 5 (23°C)
COD[mg/L]	7.0	9. 1
T-N[mg/L]	1.6	1.8

環境騒音調査結果総括表[平成22年10月分]

調査地点:大阪南港野鳥園

調査日時: 平成22年10月13日午前12時~10月14日午後12時

時間区分	L 5			L 50			L 95		L eq			主音源	
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
昼間	50	44	53	46	42	49	44	40	47	47	42	49	港湾作業
夜間	51	44	56	47	41	54	45	39	52	50	42	54	虫

注:1. L5、L50、L95の平均値は算術平均値、Leqの平均値はパワー平均値である。 2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。 3. 時間区分は、昼間は午前6時から午後10時、夜間は午後10時から午前6時までの間とする。

環境騒音調査結果[平成22年10月分]

調查地点:大阪南港野鳥園

調查日時: 平成22年10月13日~14日

調査地点	=10月13日~14日							
調査	時間の	地域の	環境	騒	音レベル	(デシベ៸	V)	主音源
時間	区分	類型	基準値	L 5	L 50	L 95	L eq	,
06:00				52	49	47	49	鳥
07:00				51	47	45	48	港湾作業
08:00				52	46	44	48	港湾作業
09:00				51	48	46	49	港湾作業
10:00				52	47	45	49	港湾作業
11:00				50	46	44	48	港湾作業
12:00				48	45	42	45	港湾作業
13:00			CO 1D (A)	50	47	45	48	港湾作業
14:00	昼間		60dB(A)	53	47	44	49	港湾作業
15:00				51	47	44	48	港湾作業
16:00				52	47	45	48	港湾作業
17:00		C		49	45	43	46	港湾作業
18:00		С		52	45	44	48	船舶
19:00				47	44	42	45	虫
20:00				46	43	41	43	虫
21:00				44	42	40	42	虫
22:00				44	41	39	42	虫
23:00				45	41	39	42	虫
00:00				46	43	40	44	虫
01:00	夜間		50dB(A)	51	43	41	46	虫
02:00	1文 [町]		500b (A)	54	49	46	51	虫
03:00				56	54	51	54	虫
04:00				56	54	52	54	虫
05:00				53	51	50	52	虫
	最小	卜 値		44	41	39	42	
	最 ナ	大 値		56	54	52	54	
	平均	匀 値		50	46	44	49	

注:1.L5、L50、L95の平均値は算術平均値、Leqの平均値はパワー平均値である。

^{2.} 環境基準はLeqである。

低周波空気振動調査結果総括表 [平成22年10月分]

調查地点:大阪南港野鳥園

調査日時: 平成22年10月13日午前12時~10月14日午後12時

音圧レベル(デシベル)										風速				
	L 5			L 50			L 95			L max			(m/s)	
平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	最小	最大	
74	73	77	72	70	75	70	68	71	77	75	80	0. 1	1. 7	

注:1. 平均値は算術平均値である。 2. 作業時間帯(午前9時から午後6時までの間)の結果を表している。

低周波空気振動調査結果[平成22年10月分]

調查地点:大阪南港野鳥園

調 査 日:平成22年10月13日~14日

調査調査	产成22410	音圧レベル	風速(m/s)			
時間	L 5	L 50	L 95	L max	最小	最大
06:00	69	66	65	73	0.0	0.5
07:00	75	73	71	81	0. 2	1.2
08:00	73	71	69	77	0.1	0.7
09:00	74	71	70	79	0. 2	1.1
10:00	74	72	71	77	0. 1	0.6
11:00	75	73	71	80	0. 1	0.8
12:00	73	71	69	75	0. 2	1.7
13:00	73	71	70	75	0. 2	1.6
14:00	73	72	70	76	0.2	1.0
15:00	77	73	70	79	0. 1	1.4
16:00	77	75	71	79	0. 1	1.0
17:00	73	70	68	76	0. 2	1.2
18:00	74	69	67	78	0. 1	1.2
19:00	76	71	66	80	0. 2	1.4
20:00	69	64	63	71	0. 1	1.0
21:00	71	66	64	78	0. 1	1.0
22:00	70	66	64	71	0. 1	1.1
23:00	69	65	63	75	0.1	1.0
00:00	70	66	64	74	0. 2	1.3
01:00	73	66	64	75	0.0	0.8
02:00	70	67	66	72	0. 1	1.2
03:00	73	66	64	75	0.2	0.8
04:00	68	64	63	71	0. 1	0.7
05:00	68	66	64	72	0. 1	0.8
最小値	68	64	63	71	0.0	0.5
最大値	77	75	71	81	0.2	1.7
平均值	72	69	67	76	0. 1	1.0